

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和4年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
阿賀野市	観光施設事業	休養宿泊	—

実施状況

抜本的な改革の取組							<div style="background-color: #e0f7fa; padding: 5px; border: 1px solid black;"> 現行の経営体制を継続 ● </div>
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

事業規模が小さく職員が少ないことや当市では当該施設を社会教育施設と位置付けた体制で運営してきた経緯がある。しかし、経営改善の必要性は承知しており、令和3年度において、新規事業の検討、収支改善に係る使用料収入等のシミュレート作業を実施したが、感染症対策に係る施設整備を優先させてきたため経営改善計画の策定完了には至らなかった。

令和3年度の取り組みを基に、令和4年度で経営改善計画の早期策定を目指すとともに、関係団体への営業訪問、主催事業の実施、料金改定の検証などを進めるとともに、PDCAによるマネジメントサイクルを構築しながら経営体制の改善を進めたいと考えている。